

2025年4月2日

各 位

会社名 株式会社ウェッジホールディングス
代表者名 代表取締役社長兼CEO 此下 竜矢
(コード2388 東証グロース市場)
問合せ先 開示担当 小竹 康博
(TEL 03-6225-2161)

(開示事項の経過) Group Lease PCLが上場廃止に関する見解と 今後の展望及び企業強化に向けたプレスリリースを発表

当社グループの持分法適用関連会社である Group Lease PCL (以下 GL) は同社株式の上場廃止に関するタイ証券取引所からの通達に関連して、当面の株式取引予定とともに、同社の将来の展望と今後の企業強化に向けたプレスリリースを発表しております。

GLの株式は 2021年以降売買が停止となっており、上場廃止猶予期間中でありました。上場廃止の後、GLは事業の継続的な強化など新たな環境での企業としての課題に一層積極的に取り組み、マーケットリーダーの地位を再び獲得する意向を表明しております。

今回の結果により当社の株主の皆様及びステークホルダーの皆様に多大なご心配と負担をおかけしたことは当社として大変遺憾であり、深くお詫びいたします。しかしながら東南アジア各国に展開するGLとその子会社は、当社グループにおいて今後も戦略的に重要な関連会社であります。上場廃止後も引き続き事業を意欲的に展開する同社を、当社としても今後も同社を強く支援していくこととお知らせいたします。

なお下記にGLが発表した内容を日本語に翻訳してお知らせいたします。

原文は下記URLよりご確認ください。

(原文 URL: <https://grouplease.international/8119/>)

プレスリリース

2025年4月1日

タイ証券取引所 (SET) による上場廃止の決定とGLの将来に向けた展望について

Group Lease Public Company Limited (以下「当社」) は、タイ証券取引所 (SET) による上場廃止の決定についてお知らせいたします。SET の規則に従い、上場廃止前の一時的な取引可能期間が設定され、当社株式の一時的な取引期間が設定されることとなりました。その期間である4月11日から2025年4月23日までの間、当社株式は現物取引での取引が可能となりました。

このような事態により当社の大切な株主や投資家の皆様、ステークホルダーの皆様に多大なご迷惑をおかけすることになったことは大変残念に捉えております。当社一同にとり、これは深く困難で痛みを伴う瞬間であり、この状況がもたらしたご心配、失望、混乱に対し、心よりお詫び申し上げます。

このような結果に至った大きな要因は、2020年まで当社の会計監査人であるKPMGが以前に提起した未解決の問題です。これらの懸念、特にJトラスト・アジアが不当に繰り返し開始した進行中の訴訟に関連する懸念は依然として解決されていません。結果として、当社は2021年から現在までの会計年度の監査済み財務諸表を確定することができていません。株主の皆様やステークホルダーの皆様に多大なご迷惑とご不安をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。当社は、このような法的請求に対して強力で防御することを固く約束し、この問題を公平かつ公正に解決するために、あらゆる適切な法的手段を追求し続けることを明言したいと思います。

このような困難にもかかわらず、取締役会は引き続き当社の経営陣を全面的かつ揺るぎなく信頼しています。我々は、彼らの専門知識、戦略的ビジョン、卓越性へのコミットメントを固く信じています。彼らのリーダーシップは、事業の維持と継続的な改善だけでなく、Jトラスト・アジアとの法的紛争の公正な解決に向けて粘り強く取り組み、この過渡期に当社を導く中心的存在です。彼らの指揮の下、グループ・リースがより強くなり、リース業界における地位を取り戻すことができると確信しております。

上場廃止は大きな後退ですが、当社の将来を決定するものではありません。グループ・リースは経営的に健全であり、中核事業は周辺各国で価値を提供し続けています。私たちは、財務の安定性を回復し、ガバナンスを強化し、業務効率を向上させるための確固とした措置を積極的に実施しています。

株主の皆様には、皆様の忍耐とご理解、そして変わらぬご支援に心より感謝申し上げます。皆様からの信頼は、約束ではなく、透明性のある行動と具体的な成果によって回復されなければならないと痛感しております。信頼回復のために全力を尽くす所存ですので、どうかご安心ください。

当社は今後もオープンにコミュニケーションを取りながら前進して参ります。詳細およびお問い合わせは、当社の投資家対応チームまでご連絡ください。

これは当社の歴史において最も困難な時期のひとつではありますが、私たちはチームの力、ステークホルダーの皆さまの忠誠心、そして事業の永続的な可能性を信じています。謙虚さと決意、そして明確な意図を持って、私たちはグループ・リースを再び強くするために努力してまいります。

Group Lease Public Company Limited

2025年4月1日